

平成  
16年度

# 富士見町のバランスシート を作成しました



## バランスシートの作成方法は？

地方公共団体が普通会計の財政状況をわかり易く公表するために、総務省の統一基準により作成しましたが、次のような条件や留意点があります。

作成した基準日は平成17年3月31日現在です。対象となる会計は普通会計（一般会計と有線放送電話特別会計）で、上下水道事業会計、土地開発公社等の会計は含まれていません。積み上げた基礎数値は昭和44年度以降の決算統計のデータによるものです。

## 普通会計のバランスシート

平成17年3月31日現在

### バランスシートとは？

バランスシートは、町が所有している資産がどの位あり、その資産を形成するために要した借入金や町税などの財源はいくらかを示したものです。民間企業でいう「貸借対照表」に当たります。



#### 有形固定資産

庁舎、学校、コミ・プラなどの建物やそれらの用地や道路など。(土地を除き減価償却をしたもの)

#### 投資等

土地開発公社などに対する出資金、特定の目的の使用のために積み立てた積立金など。

#### 流動資産

財政調整基金、現金、預金など

### 資産や負債などの状況(概要)

#### 借方(資金の用途)

資金を何に使ったか

資産(将来にわたり使用する財産)

有形固定資産	
土木費	301億3,152万円
教育費	94億1,080万円
農林水産業費	79億8,791万円
農林水産業費	39億6,578万円
行政目的別上位抜粋	
投資等	24億5,518万円
流動資産	26億6,766万円
資産合計	352億5,436万円

#### 町民1人あたりでは

(平成17年3月31日現在の人口で算出)

有形固定資産	193万円
投資等	16万円
流動資産	17万円
資産合計	226万円

#### 貸方(資金の調達)

資金をどこから調達したか

負債(これからの世代が負担していく)

地方債(町債)	56億9,982万円
債務負担行為	0万円
退職給与引当金	12億4,465万円
負債合計	76億2,306万円

正味資産(これまでの世代が負担してきた)

国庫支出金	14億4,175万円
県支出金	16億976万円
一般財源等	245億7,979万円
正味資産合計	276億3,130万円

負債・正味資産合計	352億5,436万円
-----------	-------------

負債合計	49万円
正味資産合計	177万円

負債・正味資産合計	226万円
-----------	-------

地方債  
学校、道路などの整備や税収不足を補う際に借り入れた借入金

債務負担行為  
用地等の購入費をローンで行っているもの

退職給与引当金  
年度末に職員全員が退職すると想定した場合に必要な退職手当総額の推計

正味資産  
資産を形成するために獲得した国、県の補助金、町民が負担した税金

町民1人あたりでは...



### バランスシートから分かること

決算時点での町の資産や負債等の状況を把握することができます。道路、学校、コミュニティ・プラザ等の施設の建設やその土地の取得など、今ある資産に対して91.7%の支払が済んでいて、今後の支払は8.3%と低くなっています。

$$\frac{276億3,130万円(正味資産合計)}{301億3,152万円(有形固定資産合計)} = 91.7\%$$

ただし、たくさんの建物や施設を持っており、それらの修繕や建て替えには大きな費用がかかるため、それに対する備えが必要です。



### 資産の部で土木費が多いのはなぜ？

富士見町には、広々とした公園、整備された道路があるからです。

次に「教育費」が多いのは、小・中学校、図書館、体育施設などがあるからです。

続く「農林水産業費」の内容として、農道、林道の整備、農業基盤整備等があげられます。

## 住民1人当たりのバランスシート前年度対比

(単位:円)

	平成15年度	平成16年度
資産額	2,306,422	2,261,055
負債額	475,682	488,909
正味資産額	1,830,740	1,772,146